

令和5年度 JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道
「列車内鉄道絵画展」審査会講評

(1) 応募作品全体について

今年の夏は特に暑く、現場で描くことはなかなか出来なかったと思います。写真をもとに描いたと思われる作品が多く、特に低学年では中学年や高学年ではないかと思われるような作品がたくさん見られました。本来のその学年らしい子どもの表現がみたいなあと思いました。とはいえ、どの作品も一生懸命心をこめて取り組んだ様子が想像でき、楽しく見させていただきました。

(2) 大賞作品について

淡い色彩が作品のなかでやさしく響き合っています。上部に家々をすき間なく描いた分、下部に空間を作ったことで空気が流れました。線路に沿って列車も曲がり、画面に動きもできました。

いつまでも観ていたいような魅力ある作品です。

大賞



「川を渡り、近づいてくる神戸電鉄」

はせがわ さな
長谷川 紗那

(西脇市立重春小学校 6年)